

立命館大学アート・リサーチセンター  
 文部科学省 共同利用・共同研究拠点「日本文化資源デジタル・アーカイブ研究拠点」  
 2017年度 共同研究成果報告書〔研究費配分型〕

2018年 月 日 提出

1. 研究課題名	
浮世絵と絵本・絵入り本にみる近世画題研究 (英文標記: _____)	
2. 研究代表者	
氏名(ふりがな)	所属機関・職名
中村恵美(なかむらえみ)	アート・リサーチセンター客員協力研究員 (元東京都立中央図書館司書)
3. 研究分担者 (合計: _____ 名) ※アート・リサーチセンター所属者は、「ARC 所属教員欄」に○印を付してください	
氏名(ふりがな)	所属機関・職名
岩切友里子 (いわきり ゆりこ)	アート・リサーチセンター 客員協力研究員
張小鋼 (ちょう しょうこう)	金城学院大学文学部教授
Lawrence Marceau (ローレンス・マルソー)	University of Auckland, Senior Lecturer in Japanese
赤間亮 (あかま りょう)	立命館大学・教授
Vanessa Tothil	立命館大学文学研究科・D4

4. 研究課題の概要(300字程度) (申請書から変更がある場合は、変更点分かるように明記してください)
<p>本研究は、アート・リサーチセンターの浮世絵ポータルデータベース、古典籍ポータルデータベースを研究基盤として、版画を含む近世絵画の画題について調査研究し、その成果をやはりアート・リサーチセンターが提供する画題 Wiki システムに搭載することで、広く情報発信する。本研究では、とくに浮世絵版画がその対象となり、この分野においては、現行の最大の成果である鈴木重三氏による『原色浮世絵百科大事典 第四巻 画題事典』の成果を少しでも前進させるとともに、この分野の研究環境を海外の研究者も活用しやすいオンライン型に転じることを目指す。</p>
5. 研究成果の概要 (この項は、本センターのホームページ・紀要等で公開することがあります)

本年度は、浮世絵の画題辞典構築のための基礎的な研究として、

1, ARC 古典籍ポータルデータベースに掲載されている絵本・絵手本の各作品に対し、多くの諸本の中から、代表作品を決定し、USER Memo 機能を使った画題索引の作成を行った。これにより、絵本・絵手本の各見開きページの中にある、典型的な画題の図様を検索できるようになった。このプロジェクトは、今後も研究活動の中で、継続する。

2, ArtWiki の画題語彙プロジェクトを継続し、解説を追加した。現在、4,630 項目が記述されており、世界最大の画題語彙辞典となっている。非公開領域に記述したものがまだ多いため、今後も鋭意、公開できるよう解説を完成していきたい。

3, 今年度は、七小町や神功皇后など、とくに浮世絵に特有の画題について、集中的に発表する研究会を実施した。また、来年度にむけて、隠された太閤記の錦絵についての総合的なデジタル展示を制作する方針を立てた。

## 6. 研究業績

### (1) 著書

・「中村恵美,岩切友里子(協力)、八代目市川団十郎画像資料集 II、(私家版)、2017.9

### (2) 論文

### (3) 研究発表等

### (4) 主催したシンポジウム・研究会等

### (5) その他研究活動(報道発表や講演会等)

### (6) 受賞学術賞

### (7) 科学研究費助成事業

### (8) 競争的資金等(科研費を除く)

### (9) その他